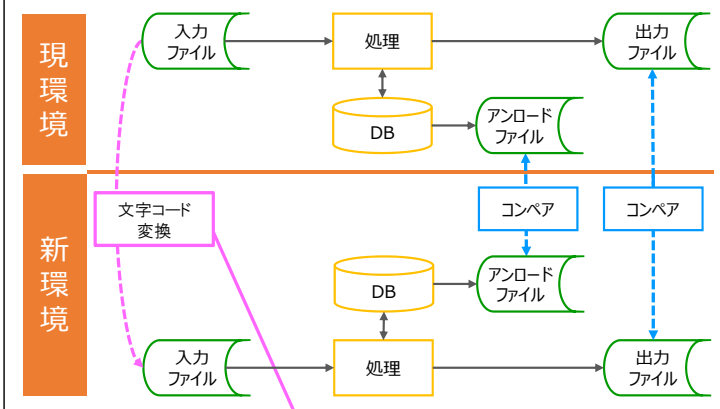


テスト自動化ツールとDCP各種ツール

マイグレーション案件における現新照合テスト

現環境と新環境の出力結果が一致することを確認するテストです。全ての処理に対して、結果が一致するまで何度も繰り返し実施するもので、マイグレーションにおいて非常に重要なプロセスです。

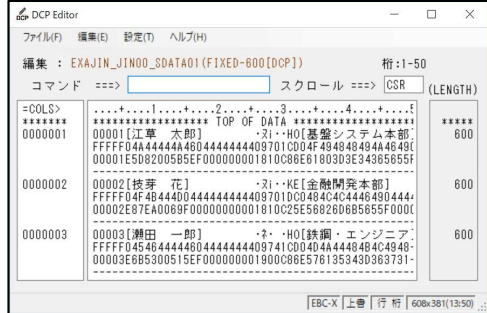
現新照合テストの流れ



DCPエディタ

TSO (ISPF) ライクな操作でラクラク編集♪
Windows PC環境で、EBCDIC表示もバイナリデータ(パック数値等)のHEX(16進)表示もレコード単位で表示可能。

テキストファイル、固定長ファイル、ホスト可変長ファイルやDCPファイルまで、これ1つでデータの確認・編集ができます。



DCPファイル変換ユーティリティ

ファイル形式やコード変換を行うユーティリティです。レコード・レイアウトをそのままの文字コード変換、SO/SIコードの編集(削除、追加、blank置換え、保持)やファイル形式変換(テキスト、固定長、ホスト可変長、DCP)が可能です。

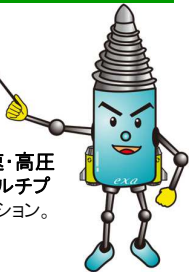
- ◆ 変換レイアウト指定(項目属性定義、条件(IF)定義)
- ◆ 優先コード変換定義(1byte文字、2byte文字)
- ◆ 変換対象文字コード:EBCDIC(IBM漢字含む)、Shift-JIS、EUC-JP



DCP

DATA COMPRESSION PACKAGE

独自アルゴリズムにより、高速・高圧縮・低CPU負荷を実現したマルチプラットフォームの圧縮ソリューション。



テスト自動化ツール

マイグレーション案件の現新照合テストを自動で行うツールです。テスト指示書とデータ変換情報を元に、データの文字コード変換、データ配置、ジョブ実行、テスト結果確認といった一連の流れを実行するShellを自動作成します。テスト自動化ツールの導入により、作業効率の向上、人為的ミスの減少を実現し、現新照合テストをスムーズに推進することが可能です。

自動化ツールは、EXCEL-VBAで作成されている為、カスタマイズが容易です。また、自動生成された機能は、それぞれが独立した内容なので、マイグレーション案件以外でも、単体利用が可能です。



テスト指示書

既存資源(JCL)を元に生成

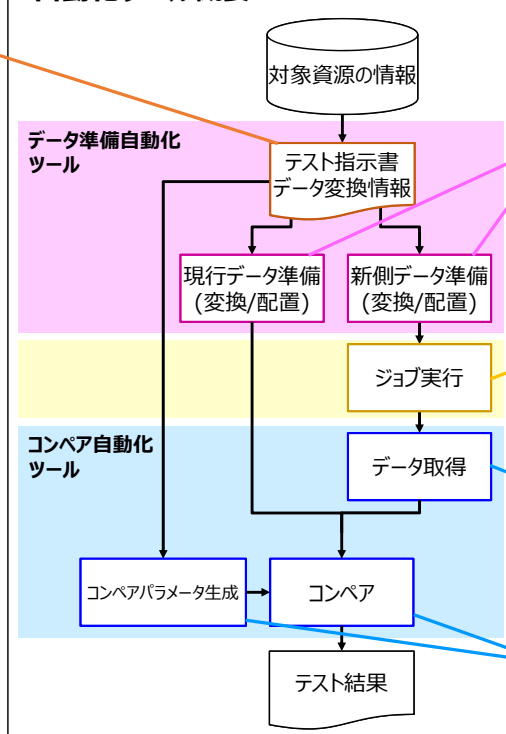
テストケースID	テストケース名					
JP.TEST.01	テスト内容					
ジョブ名	STEP数					
EXAJIN02	6					
確認事項						
1						
入力ファイル	データセット名	アロード形式	STEP名	DD名	対象	件数
1	EXAJIN_JINCO_SDATA01	EXAJIN_JINCO_SDATA01	SO10	IN001	○	
2	MAST00_KMAST01	MAST00_KMAST01	SO10	IN002	○	
3	MAST00_SMAST01	MAST00_SMAST01	SI00	MAST		
入力DB	データセット名	アロード形式	STEP名	DD名	対象	件数
1	DBLINK_TECB016	TECB016	SI00			
2						
出力ファイル	データセット名	アロード形式	STEP名	DD名	対象	件数
1	MAST00_SMAST02	MAST00_SMAST02	SI00	PR11	○	200
2						
出力DB	データセット名	アロード形式	STEP名	DD名	対象	件数

データ変換情報

既存資源(COBOL-COPY句、PL/I-INCLUDE)を元に作成

COPY	フォーマット名	ファイル名	LEN	LENT								
JIN00	JIN00_00		600									
No.	LV	FieldName	項目名	Type	Size	DecP	Offset	繰返	検索	参照目次	PIC	備考
1		JINJ1			600			1				
2		SNO		N	5			1		JINJ1	(9(05))	
3		SNAME		C	20			6		JINJ1	(X(16))	
4		SNOISHA		D	5			26		JINJ1	(S(08))	01
5		SKNMUCHI		C	2			31		JINJ1	(X(02))	
6		SBU		C	40			33		JINJ1	(X(40))	
7		SHTSU		C	60			73		JINJ1	(X(60))	

自動化ツール概要



データの文字コード変換

ファイルレイアウトおよびマルチレイアウト指定によるファイル変換Shellの生成

データ配置

ファイルデータ指定に基づくデータ変換Shell、データ配置Shellの生成

ジョブ実行

テスト対象となるジョブを実行するShellを生成

データ取得

ジョブ実行により得られたデータ(出力ファイル、DB)の取得Shellを生成

テスト結果確認

検証対象指定に基づき、ファイル比較処理を組み込んだ実行Shellを作成

本資料に記載されているロゴ、システム名称、企業名称、製品名称は各社の登録商標または商標です。

作成者: ビジネスソリューション部 阿部、小川、清水、鈴木